

<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	保健福祉部	所管課	総務課、地域福祉課	
施策名	高齢者や障がいのある人等に対する防災体制の整備			施策コード	04062	
政策体系(中項目)	安全・安心な生活の基礎となる防災体制の確立			政策体系コード	1(6)A	
知事公約	C0043 C0089	総合戦略	A2121	国土強靱化	B1113	事務事業数 7
SDGs	-			総合判定	概ね順調	

**【1 Plan】**

施策目標	北海道福祉のまちづくり条例に基づき、障がい者、高齢者、妊産婦をはじめ全ての人が円滑に利用できるよう、福祉環境整備を行い、全ての人に優しいまちづくりを推進する。					
現状と課題	平成3年から概ね3年間の整備方針を策定し、計9期27年にわたる整備事業を計画的に進めてきたことにより、バリアフリー化が一定程度進んだものの、改善が必要な施設・項目は残されており、今後も整備の継続が必要。					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、高齢者等の利用が多く見込まれ、車いす使用者用駐車施設が整備されていない施設の駐車施設整備</li> <li>出入口の段差解消、手すりの設置、トイレ改修等がされていない施設の整備</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	3,413,234	R2	0	R1	0
施策のイメージ						

**＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R3)	達成率	指標判定
社会福祉施設の耐震化率	目標値		95	95	95	95	91.2%	B
	実績値		84.3	85.6	86.6			
設定理由	北海道強靱化計画に基づく、建築物の耐震化率として設定							
分析(主な取組と成果)								
耐震化整備に係る補助の実施により、社会福祉施設の耐震化は着実に進んでいる。								

指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R3)	達成率	指標判定
福祉避難所の確保状況	目標値		100	100	100	100	100.0%	A
	実績値		100	100	100			
設定理由	北海道強靱化計画に基づく、市町村の福祉避難所確保率として設定							
分析(主な取組と成果)								
市町村の実績を表す指標であり、道は取組を促進する形で関与。市町村が抱える課題等について意見効果を行うなどして、課題解決に向けた取組を支援している。								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
分析(主な取組と成果)								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	高齢者や障がいのある人等に対する防災体制の整備	施策コード	04062
---------------	-----	-------------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	社会福祉施設の耐震化率	84	86	87	95	B
	福祉避難所の確保状況	100	100	100	100	A
目標(指標)の達成状況	耐震化整備に係る補助の実施により、社会福祉施設の耐震化は着実に進んでいる。(直近の実績はH31.3.31現在)				指標総合判定	A
連携状況	例年、施設整備(耐震化整備を含む)の整備計画をとりまとめている。				連携判定	○
緊急性優先性	国に対し、社会福祉施設等の耐震診断助成制度の創設等の要望を行うほか、北海道・東北7県保健福祉主管部長による要望を行っている。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	耐震化整備に係る補助の実施により、社会福祉施設の耐震化は着実に進んでいるため、当該補助を継続していく。				総合判定(一次評価)	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	耐震化整備を継続していく。また、国に対する社会福祉施設等の耐震診断助成制度の創設等の要望及び北海道・東北7県保健福祉主管部長会議による施設整備に係る財源確保の要望を継続する。

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況(R3.3時点)	
R3年度二次政策評価		

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	令和4年度以降も継続し、社会福祉施設等の耐震化が必要な施設に対し補助金を支出することで各施設の耐震化整備を進める。また引き続き国に対し財源確保の要望を行う。